



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.12 (165)

2017.12.26

今年（2017年）も残り数日で暮れようとしています。今年を代表する漢字が「北」のようですが、何とはなしに佳い心象がもてません。因みに、北という字は2人の人が背を向けていることを表すそうです。それでも本研究会にとっては、「佳事」の多い1年であったと思います。これもすべて会員の方々のご協力・ご支援のおかげです。来年にかけて勢いを増して伸長するつもりでいます。来年もご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。皆様、佳い年をお迎えください。

1 ウィンター・フォーラム2017が以下の次第で開催されました[敬称略].

(1)活動報告会2017

日時：2017年12月2日（土）. 9時20分～17時00分.

会場：豊中市立中央公民館

開会の挨拶：松原義弘

座長・指定討論：勘場 貢・河合統介・辻 光宏

閉会の挨拶：白旗慎吾

プログラム：

- ・尾崎寿昭：形状不変モデルとその推測.
- ・池田敏広：2017年の振り返り.
- ・吉川隆範：2重ベキ加法化変換に基づくパラメトリックモデルの推測.
- ・岡 昌子：最近の勤行に拾う話題.
- ・谷岡健資：クラス情報を考慮したクラスタリングを伴う相関行列に対する低ランク近似について.
- ・米山昭成：2017年の進捗と2018年の目標.
- ・五十川直樹：国際共同試験でのBayesian credible subgroups approachを用いた地域間差の評価.
- ・藤澤正樹：成書の完成に向けて.
- ・川端ゆみこ：ベキ正規分布に基づく生体リズムの推定と評価.
- ・大江基貴：共変量調整を伴うロバストな2標本検定.
- ・石井亮太：モデル誤特定に対するロバスト分散の使用について.
- ・吹谷芳博：2017年のBRA活動報告と研究テーマの進捗報告.
- ・丸尾和司：医学データ解析におけるベキ変換の応用.
- ・山口祐介：Copula mixed effects models for bivariate meta-analysis of two binary outcomes with low incidence.
- ・下川敏雄：データ駆動型サブグループ解析の方法.

- ・ 永久保太士：経時対応データ解析におけるノンパラメトリック効果の検討.
- ・ 池田公俊：一般化 Poisson モデルに基づく症例数設計.
- ・ 志賀 功：別府（大分）－大阪－名古屋の連携を担って（仮）.
- ・ 杉本知之： 過剰ハザードモデルにおける Brier スコアの推測.
- ・ 後藤昌司：計画と遂行の過程 2017.





—活動報告会2017でのひとこま—

(2)納会2017

日時：2017年12月2日(土). 17時30分～22時00分.

会場：順平







－納会2017でのひとこま－

2 定例研究会[東京]2017-12-8が以下の次第で開催されました[敬称略].

日時：2017年12月8日（金）. 13時30分～17時.

会場：ファイザー株式会社 18E01会議室

演者・演題：

大江基貴. 共変量調整を伴うロバストな2標本検定.

丸尾和司. 医学研究における統計的変換モデルの応用について.

五十川直樹. 国際共同試験でのBayesian credible subgroups approachを用いた地域間差の評価.

河合統介. 最近の話題.

松原義弘. 特定非営利活動法人・医学統計研究会の「活動実績2017」

後藤昌司. 日本臨床薬理学会・第38回学術総会：「特別講演」余録.

課題検討会は「みょうがや」で開かれ、10名の方々が参加されました。来年にかけての抱負などの課題で熱く楽しい議論が交わされました。





一定例研究会[東京]2017-12-2のひとこまー

3 特定主題シンポジウム2018が開催されます。プログラムは以下のとおりです[敬称略]。

日時：2018年2月3日（土） 10時00分～17時00分。

会場：アステラス製薬(株) 日本橋本社 8階ホール

プログラム：

- ・開会のあいさつ：製薬業界における Informatics and Analytics の現況
Nate Crisel (Head, Real World Informatics & Analytics, Astellas)
阿部一洋 (エーザイ(株))
- ・創薬研究におけるデータ・サイエンス 土屋貴穂・和田卓也 (アステラス製薬(株))
- ・臨床開発における生物統計家の役割 土屋 悟 (大日本住友製薬(株))
- ・観察研究計画でデータ・サイエンティストのみなさまに期待すること
木村友美 (アステラス製薬(株))
- ・製薬における経営工学の利用：Data Analytics と Decision Science
伊藤雅憲 (アステラス製薬(株))
- ・医薬品マーケティングにおけるマルチチャネル分析の実際
大西一聡 (SAS Institute Japan(株))
- ・Real World Informatics におけるデータ・サイエンティストの役割
東郷香苗 (ファイザー)
- ・ビッグデータ・人工知能の医療・創薬への応用 (仮) 奥野恭史 (京都大学)
- ・閉会のあいさつ 後藤昌司 (特定非営利活動法人 医学統計研究会)

4 今後に予定されていますシンポジウムなどを以下に記します。ご参集をよろしくお願いいたします。

(1) 定例会 [大阪] と定例研究会 [東京] の「新春合同例会」を以下の次第で開催いたします。

日時：2018年1月20日（土） 13時～17時

会場：豊中市中央公民館

幹事：尾崎寿昭・池田敏広・吉川隆範

プログラムは来年早々にお知らせいたします。

(2) 大分統計談話会・第55回大会が以下の次第で開催されます[敬称略]。

日時：2018年2月8-9日（木-金）。

会場：富士通大分システムラボラトリ

プログラムはホームページにて紹介されています。

5 2017年の結びにあたり、本年の「活動実績」の一端をご報告いたします。本年に、シンポジウムは4回、セミナーは1回開催され、総計264名（有料参加者164名、講師・スタッフ52名、協力会社聴講者48名）の方々にご参加いただきました。有料参加者の会員別内訳では、非会員111名、賛助会員25名、正会員20名、一般会員8名でした。昨年（2016年）よりも、総数で77名の増加となりましたが、その殆どが昨年に中断していましたシンポジウムの開催によるものでした。各シンポジウムとセミナーの開催テーマ、開催場所、参加者の内訳は下表のとおりです（会員区分および所属区分別のそれぞれの表中の括弧内は昨年実績です）。ご講演いただいた諸先生、および参加・聴講いただきまし

た皆様方に心から御礼申し上げます。今後とも、ご支援とご協力の程をよろしくお願いいたします。

開催シンポジウムとセミナー

開催テーマ	開催場所	有料参加者	講師スタッフ	聴講者	合計
特定主題シンポジウム (2017. 2. 4) 「国際共同治験における最近の話題：統計的課題と事例研究」	アステラス製薬(株) 日本橋本社別館	31名	14名	12名	57名
特定主題シンポジウム (2017. 6. 17) 「臨床評価における意思決定の過程」	エーザイ (株) 小石川ナレッジセンター	32名	10名	7名	49名
特定主題セミナー (2017. 8. 3-4) 「臨床評価におけるデータマネジメントの過程」	生涯学習センター ばるーん	17名	7名		24名
特定主題シンポジウム (2017. 8. 5) 「日常における医学統計学とその実践の諸問題」	NATULUCK 神田 北口駅前会議室	49名	10名	4名	63名
定例シンポジウム (2017. 10. 28) 「医療で必要とされる統計的基礎知識」	ファイザー (株)	35名	11名	25名	71名
合 計		164名	52名	48名	264名

会員区分別有料参加者

会員区分	参加者数
賛助会員	25(16)
正会員	20(22)
一般会員	8(4)
非会員	111(69)
総計	164(111)

所属区分別有料参加者

所属区分	参加者数
製薬企業	82(56)
CRO	48(35)
病院	10(8)
大学	19(5)
研究所	2(5)
その他	3(2)
総計	164(111)

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範
連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。